

コロナ禍におけるQMS-H活動の継続

QMS-H (Quality centered Management System for Healthcare: 医療における質中心経営管理システム)

2022年3月6日(日) 12:30~16:45 Zoom(オンライン)開催

QMS-H研究会代表: 飯塚悦功(東京大学), 副代表: 棟近雅彦(早稲田大学)・水流聡子(東京大学)

QMS-H研究会は、大学の工学系研究者と病院との共同研究により、「QMSアプローチ」による医療の質・安全の向上をめざしてきました。QMSは、代表的なマネジメント技術であり、質のよい製品・サービスを組織的に提供し、さらに改善を行うための仕組み、仕事のやり方です。QMS-H研究会では、医療にふさわしいQMSの形態はどのようなものであるのか、それを病院に導入・推進するにはどのようなやり方をすればいいのか、10年以上にわたり先駆的な研究を続けてきました。

本年度も新型コロナウイルスの影響は続いておりますが、このような中でも、各参加病院がQMS活動の重点課題を定め、活動を進めてまいりました。本シンポジウムでは、各病院の取り組みの発表に加え、参加病院間でのパネルディスカッションを行います。また、昨年度に引き続き、オンラインでQMS-H研究会を開催し、共同研究テーマを推進してきました。これまでの文書管理、教育グループに加えて、今年度より、QMS維持・継承、日常管理グループを立ち上げ、研究活動に励んでまいりました。それらの成果をご報告いたします。みなさまのご参加をお待ちしております。

プログラム(予定)

- I はじめに (早稲田大学 棟近 雅彦)
- II 共同研究グループの成果発表 — 文書管理, QMS維持・継承, 日常管理, 教育 —
(ベルランド総合病院 田中 宏明, 日本科学技術連盟 ISO審査登録センター 小山 徳子,
東海大学 金子 雅明, 東京大学 下野 僚子, 静岡大学 梶原 千里)
- III 参加病院からの重点課題テーマの成果報告, パネルディスカッション
ルーム1: 明石市立市民病院, 飯塚病院, 大久野病院, 古賀総合病院, 埼玉病院

ルーム2: 川口市立医療センター, 心臓血管センター 金沢循環器病院, 仙台医療センター,
前橋赤十字病院, 武蔵野赤十字病院
- IV 学生による病院との共同研究テーマの発表 (静岡大学, 東海大学, 早稲田大学 学生)
- V 今年度のまとめと来年度の計画 (早稲田大学 棟近 雅彦)
- VI おわりに (東京大学 飯塚 悦功)

申込方法

参加費は無料です。

①ご氏名, ②ご所属, ③職種, ④E-mailアドレス の4点を記入の上, 2月28日(月)までに,
シンポジウム事務局まで, E-mailでお申し込みください。

E-mail: qms-h-secretary@tqm.mgmt.waseda.ac.jp

後日, お申し込みいただいた方に, 当日のオンライン会議室への入室方法をご案内いたします。

シンポジウム事務局 E-mail: qms-h-secretary@tqm.mgmt.waseda.ac.jp
TEL: 03-5286-3304

QMS-H研究の詳細は, <http://qms-h.org/index.html> をご参照ください。